

令和元年  
睦月

# 夢甲斐塾の近況報告 夢甲斐通信 YUMEKAI TSUSHIN 2020.01

## 大成功を収めた市民フェスタ

令和元年11月16日(土)・17日(日)、小瀬スポーツ公園で開催された「やまなし市民活動交流フェスタ(市民フェスタ)」に夢甲斐塾も参加しました。



今回、ブース出店を担当したのは7月に入塾したばかりの19期生。またメンバー同士の顔と名前もわからない中で、スタートとなりました。が、太田学リーダーを中心に、19期生が集まり、夢甲斐塾として初めて市民フェスタに出店した6期生に、参加することの意味、目的をヒアリングに出向いたり、当日会場で配布するパンフレットをどんな内容にするのかを議論したり、

広告掲載を先輩塾生に依頼に伺ったり、当日のブース設置の企画案を出し合うなど、綿密な打ち合わせを行い、市民フェスタに臨みました。例年、商品販売することが多かったブース出店内容も、「遊び」をテーマとした、縁日でお馴染みの「射的」を出店。この昔懐かしい「射的」が、子供たちや、その親御さんから「やってみたい」と好評を頂き、夢甲斐塾のブースを訪れる人の波は連日途切れることなく、19期生予想を大幅に上回る来客数を記録することとなりました。これほどまでに多くの来店者数も、ここ最近ではなかったほどです。

当日を迎えるまでに連日ミーティングを実施することで、19期生同士の絆が芽生え、夢甲斐塾のブースを訪れる方々に

を体験してみよう! (きらめ樹) が登場。

内輪向けの「夢甲斐塾の明日を考える座談会」まで数えること計10企画が立ち上がり、郷育フォーラムを大いに盛り上げることに成功しました。

事前の準備から当日、および後日に至るまで、様々な形でご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。

### 「夢甲斐塾の明日を考える各期連絡係座談会」を開催しました。

柴田 雅央(7期)

令和元年10月6日(日)、夢甲斐フェスタ内にて、各期連絡係と有志数名にご参集頂き、白倉塾長も交え座談会を18名で開催致しま



「夢甲斐塾」をPRできるなど、これから活動を展開していく19期生にとっても、自信になったのではないのでしょうか?

当日、市民フェスタにご参加くださった先輩塾生のみなさん、また、19期生のパンフレットに広告出稿して下さった先輩塾生のみなさま、ありがとうございました。これからの19期生の活動にご注目ください。

した。目的は「20年記念」に向けてのキックオフです。

まずは現在の夢甲斐塾の事業報告を行い、自己紹介、そして、個別に夢甲斐塾への要望を伝えて頂きました。個人的な予想では、辛辣な意見が多いかと思っていたのですが、皆さん前向きな意見を伝えて頂きました。代表的な意見としては「夢甲斐塾は続けて欲しい」「古参の塾生と繋がりたい」「塾長例会の出席者を増やしたい」などです。私としては20周年記念に向けて、塾生の縦の繋がりの強化を図って行き、30周年を見据えた記念式典にしたいと思っております。

開催は、令和3年9月頃を予定しています。16〜20期生には実働部隊として活躍して頂き、1〜15期生にも何かしら期ごとの役割をもって参加して頂きたくお願い致します。

### 「夢甲斐フェスタ in 郷育フォーラム2019」を開催して 夢甲斐フェスタ実行委員長 酒井 大介(15期)

夢甲斐フェスタは年に1回歴代塾生が集い、活動紹介を通して広く一般の方々に夢甲斐塾を知っていただくと共に塾生間で学びを共有することを目的とした年間最大の塾生例会で、今回は15期が主催。現役の18・19期と15期お世話係の13期が共催で、令和元年10月6日(日)に開催しました。

一般の方々に参加しやすいように、前々回から夢甲斐フェスタを郷育フォーラム内で開催してきましたが、発表会形式では呼び込みが困難だったため、今回

は塾生が個々の企画に力を注ぎ、各自が持ち場で夢甲斐塾をアピールする形に挑戦しました。

白倉塾長による「令和を楽しくむ講演会」を筆頭に、恒例の「大餅つき大会」「歴史クイズラリー」「フェアトレードを広めよう! (しゃんていこっこ)」や、新登場の「無添加食品食育ブース」「リラクゼーションブース」、「伝家の宝刀煎餅(ひろさんぼん)」、「職業体験コーナー」は「神に感謝しつつ建設される日本家屋(ふるさとHOMARE)」、「森のお仕事



# クリスマス会2019 in 萌木の村を開催

12月26日、清里にある萌木の村にて、クリスマス会が開催されました。「多くの塾生との語らいの場をもちたい」という上甲夢甲妻塾名誉塾長の呼びかけに、19期生はもちろん、多くの塾生が駆けつけました。

今年のクリスマス会は趣向を変えた設えにしたいと、イベントリーダーの加藤さんを中心に企画を練り、養蜂家の船橋さんをゲストスピーカーに迎え、自然の中を散策しながら、お話を頂きました。参加した19期生には上甲名誉塾長にお会いするのが初めてという塾生も多く、語らいの時間は夜遅くまで続くなど、有意義なイベントとなった様子でした。



写真上：上甲名誉塾長ご夫妻、船橋さんと  
写真下：上甲名誉塾長講話

## 「クリスマス会を開催して」

イベントリーダー  
加藤 景子（15期）

12月26日（木）、夢甲妻塾恒例の上甲名誉塾長ご夫妻を囲んでクリスマス会を開催しました。

今回は養蜂家船橋康貴さんの案内で、森の中を1時間位かけてお話を聞きながら散策するなど、趣向を変えたクリスマス会を企画しました。当日は多くの18期生、19期生が集まり、上甲名誉塾長と語らいの時間を持つことができ、参加した塾生には有意義なひと時になったのではないかと思います。

ご参加頂いたみなさま、ありがとうございました。

# 松下政経塾にて 8月合宿例会を開催



8月31日  
と9月1日  
の2日間に  
渡り、18期生  
の有志が中心  
となつて企画  
された合宿  
例会が無事

に執り行われました。

合宿例会のテーマは、やはり「志の維持」。自修自得の精神を実践すべく、18期生の望月博詞さんがレンタカーのバスを運転し、車内で松下政経塾と松下幸之助翁について皆で予習するという凝った趣向。7期生の前田友和さんによる「松下幸之助トリビア」を通じて楽しく学び合いました。

午後には現地へ到着し、松下政経塾の日下部晃志氏によるオリエンテーションを受講。その後、施設見学をさせていただけました。

研修室に戻った後は、山梨県議会議員の乙黒泰樹氏に「誇り」近現代史プログラム」をご教授賜りました。

休憩を挟み、日下部氏から「問題意識と志を整理する」というテーマのワークショップを体験。夜は皆で楽しく食事を

し、その後ラウンジにて深夜まで懇親会で盛り上がりました。  
翌朝は6時からラジオ体操。そして塾内掃除。さらに、歩いて5分ほどで行ける湘南の海岸までウォーキング。

2日目の研修の山場は、講堂の演台に立つて行う「志発表会」。2日間のすべての瞬間が、人生の大きな糧となったと言つてよい程、強烈な学びの機会となりました。



